

子どもと女性の健康相談室

72



福島医大ふくしま子ども・
女性医療支援センター教授
横山 浩之氏

前回担当した際(第六十四回、昨年七月十九日付)は、メディアへの依存が精神発達に大きな影響を与え、中学生の不登校増加の一因になることをお示しました。メディアを巡る問題が著しいと、対人関係能力の向上や言語発達が遅れ、発達障害に類似した行動異常を見せることもありま

す。さらに、メディアに頼り過ぎ、人を無条件に信ずる能力(愛着形成、アタッチメント、ボンディングなど)が育たないと、「人が怖いので、人を避ける」ようになったり、「人を信用できないので、自分の都合の良い

たりします。このような行動特性は、注意欠如・多動症の行動特性に似た部分があるため、発達障害を疑われて来院することもよくあります。原因が異なりますので、注意欠如・多動症とは異なる対応方針が必要で、保護者がメディアに接する時間を正しく開示して

対人関係などに影響

ように利用する」ようになったりします。「人が怖いので、人を避ける」タイプでは、人と目を合わせられなくなったり、人と関わりを持

てなくなったりします。このような行動特性は、自閉スペクトラム症に極めて似ています。実際、ルーマニアのチャウシェ

スク政権によって、劣悪な孤児院に押し込められた子どもたちの多く、自閉症の診断基準を満たしていたものの、欧米諸国に保護された後に症状が消失したという報告もあります。「人と目が合わない」「言葉の発達が遅れている」ことで

「人を信用できないの発達、そして臨床現場に多大な悪影響を与えています。メディアを巡る問題が少なくなることを祈ってやみません。」

「人を信用できないの発達、そして臨床現場に多大な悪影響を与えています。メディアを巡る問題が少なくなることを祈ってやみません。」

「人を信用できないの発達、そして臨床現場に多大な悪影響を与えています。メディアを巡る問題が少なくなることを祈ってやみません。」

メディアと行動異常②

「人が怖いので、人を避ける」タイプでは、人と目を合わせられなくなったり、人と関わりを持

「人が怖いので、人を避ける」タイプでは、人と目を合わせられなくなったり、人と関わりを持